



「できることを、しよう」  
「わー、アサリがいっぱいー」。  
今年5月、松尾漁協は地元の  
松尾西小学校の児童をアサリ  
採り体験に招待しました。

船で渡る沖合いの干潟での  
アサリ採り。ここでは、くま手でひとかきするだけでアサリ  
がごろごろ。子どもたちは大喜びでした。

しかし、平成6年から3年間、松尾漁協ではアサリの水  
揚げゼロの状況がありました。「海が変わったのは、川や  
海の汚れが原因なのかもしれない。その意味では漁民は  
被害者。だが、漁民もアサリを  
採り過ぎていた」と話すのは、  
同漁協の黒田正明組合長。「ア  
サリの海を取り戻すため、自分  
たちでできることをしよう」と、



平成10年から「アサリの管理漁業」  
を始めました。これは、アサリの収穫  
時期や収量を徹底的に管理するもので、  
「組合員の意識改革が大切」と、組合  
員がおかず用にとアサリを持ち帰ることも禁止する徹底  
ぶりでした。

アサリ自身が自分の棲む環境をつくる

「5年間で答えが出た。去年はエイにやられて140トン  
だったが、その前年は249トン。今年は3月からの3カ月  
間ですでに前年分の収量があります」と言う黒田組合長。  
「アサリを採り尽くさないでくと、アサリ自身が水質を  
浄化して自分で棲む環境をつくり、それがカニやアナゴな  
どほかの生物にとってもいい環境となる。そして、来年も  
またアサリが採れる。だから私たちは今、海と相談しなが  
らアサリの収量を決めるんです」。アサリを核とした海の  
再生、自然との共生に確かな手応えを実感されています。



松尾漁業協同組合 組合長

黒田 正明さん

「海と相談しながら  
アサリの収量を決めるんです」



## 海の再生をめざして

### 有明海と八代海での挑戦

「アサリが採れなくなった」「海が汚れている」—近年海で異変が起きています。そんな「海の悲鳴」に耳を澄まして、今、海を再生する取り組みが有明海と八代海で行われています。徹底した「アサリの管理漁業」で豊かな干潟を取り戻しつつある熊本市の松尾漁業協同組合と「カキ殻を使った水質浄化」に取り組む八代市の「次世代のためにがんばる会」の事例を紹介します。

「美しい川を取り戻して  
子どもたちに残したいんです」

次世代のためにがんばる会 代表 松浦 ゆかりさん

清らかな水の流れが  
美しい海への第一歩

「子どもたちが進ん  
で川に入るようになりました」。カキ殻を使った  
河川の浄化活動に取り  
組む環境ボランティアグループ「次世代のためにがんばる会」。地元の漁港などで拾い集めたカキ殻を宮地小  
学校脇の新川に入れたところ、見違えるほど水がきれい  
になりました。カキ殻の成分であるカルシウムや付着し  
ている微生物が、河川の浄化に役立つのです。「幼いこ  
ろの川は水が澄み、たくさんの魚やホタルが見られました。  
ホタルが乱舞するような美しい川を、子どもたちの  
ために取り戻したいんです。また、河川の下流域に  
ある八代市は、八代海に広く面しています。河川の  
浄化は、少しずつ八代海の再生にもつながっていく  
と思います」と話すのは、同会代表の松浦ゆかりさん。



大切なのは一人ひとりの心掛け

月1回の活動には、地元子どもたちが率先して参加  
します。「子どもたちが生き生きと作業をするのが何より  
うれしいし、励みにもなりますね。環境問題は、机上論で  
はなく、実際に体験することが一番」と言う松浦さん。「だ  
れでも気軽に楽しく参加できることが、皆さんに受け入  
れてもらえたのではないのでしょうか。私たち自身も、皆さ  
んの力を借りながら楽しんでやっています(笑)。活動を通  
じて、地域の方々の川への関心も高まりました。大切な  
のは、活動に参加するだけでなく、ゴミなどを流さない  
など皆さん一人ひとりのちよ  
っとした心掛け。それが、美  
しい川を取り戻す第一歩では  
ないでしょうか」。広大な海の再  
生も、私たちの身近な水を汚  
さないことから始まっています。



「次世代のためにがんばる会」<http://ganbarokai.tripod.co.jp>

熊 本 県  
で は …

県では、有明海・八代海の再生に向けたさまざまな取り組みを行っています。その一つとして、県民の皆さんとのパートナーシップによる「みんなの川と海づくり県民運動」を進めています。8月24日(日)は県内各地で清掃を行う「みんなの川と海づくりデー」です。皆さんのご参加をお願いします。

お 問 い  
合 わ せ 先

熊本県環境政策課環境立県推進室 有明海・八代海再生推進班  
☎096-383-1111 (内線7325) FAX096-383-0314 電子メール kankyouseisaku@pref.kumamoto.lg.jp